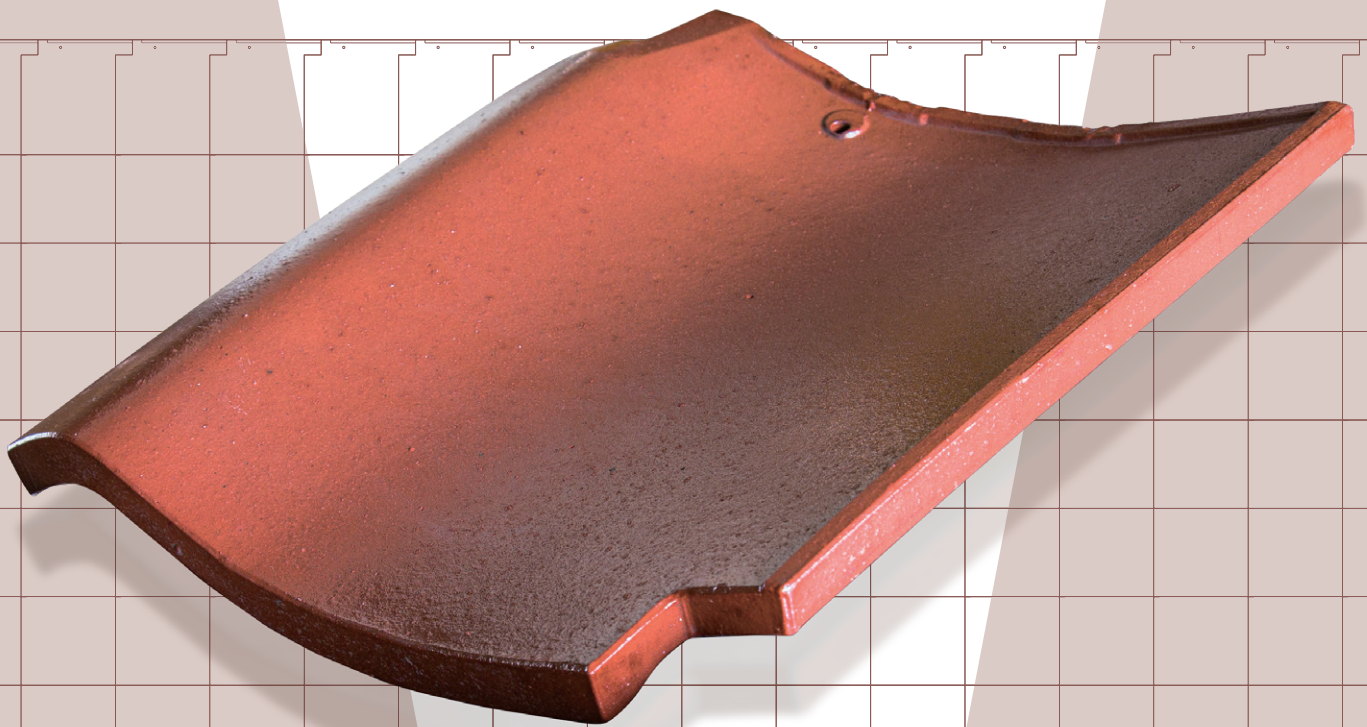


新 塩 焼 瓦

i-03 shinshioyaki-gawara



yu-ishiyasu.com

i 03

i 03 新塩焼瓦

塩害・凍害・吸水に強い塩焼瓦を残したい

昭和初期より三州では、食塩を窯に投入して釉薬形成させる塩焼瓦（赤瓦）がつくられ、吸水率が低く凍害にも強いので全国に普及していました。石保では塩焼瓦を無くしたくないとの思いから、新しい製法を開発し現在の窯でも製造することに成功しました。



大正時代より現存する塩焼瓦が使われた建物



瓦表の表情

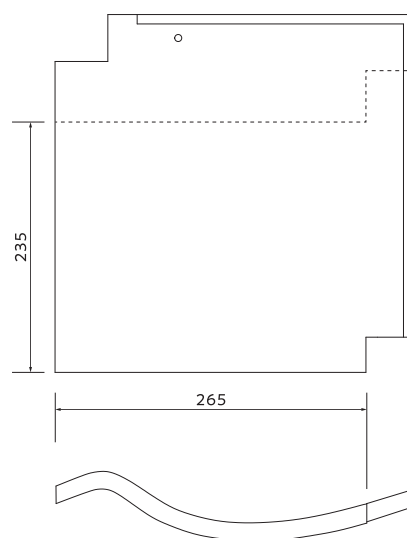


葺設状態

製造工程

- 行程 1 白地素地を焼成し、吸水率 9 % ~ 15 % の範囲における素焼き素地を作る。
- 行程 2 行程①の素焼き素地を 3~5 分の範囲で高濃度の塩水に浸漬する。浸漬時間により色彩及び光沢度合いの異なった製品を得ることができる。
- 行程 3 浸漬した素焼き素地を乾燥させた後、単窯の最高温度を 1,100℃ ~ 1,150℃ の範囲に設定して焼成する。最高温度が 1,100℃ ~ 1,150℃ の範囲は、設定より色彩及び光沢度合いの異なった製品を得ることができる。また、単窯においては、最高温度で 120 分から 480 分の範囲にすることにより色彩及び光沢度合いの異なった製品を得ることができる。

製品図



社寺・特殊瓦・住宅用瓦製造販売
有限会社 石保

所在地 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町五丁目5番地20
TEL 0566-53-0329 FAX 0566-52-2809
E-mail yu_ishiyasu@katch.ne.jp
HP <https://yu-ishiyasu.com>

